

令和 7 年度 香川短期大学
一般選抜前期
『現代の国語』『言語文化』 問題用紙

令和 7 年 2 月 1 日

注 意

1. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は□一□から□四□まで、13 ページあります。
3. 解答用紙、問題用紙ともに受験番号を記入しなさい。
4. 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

受験番号	
------	--

一

次の文章を読んで後の問に答えなさい。なお、設問の都合で一部省略と改変がある。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

。（佐藤信夫『レトリックの記号論』による）

問一 傍線部①「隅に置けない」について、本文の意味として最も適当なものはどれか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 他よりも優先的に考えなければならない

イ 終始一貫して筋道が通っている

ウ 思いのほか大切であって軽視できない

エ 存在感があり重要なものと思われている

オ 何処でも普通に見かける

問二 傍線部②「オクシモロンあるいは対義結合」について、その用例に当たらないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 公然の秘密

イ マイナス成長

ウ うれしい悲鳴

エ 生きた化石

オ 滑稽な笑い

カ 無知の知

問三 傍線部③「けろりとしている」について、本文における意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 肝心な情報が欠落しているという過ちを指摘されても何とも感じていない

イ 大切な情報を故意に脱落させて読者を巧みに欺こうとしている

ウ 情報の欠落に気づかず、かつその責任を果たそうとしない

エ 食べ物のある名なキャッチコピーをそしらぬふりをして使用している

オ 重要な情報を記述していないことに何ら問題がないように済ませている

問四 空欄 I を補うべきものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 何かの役には立ちそうだがつまらない本

イ 人によって役に立ったり立たなかったりする本

ウ つまらなくはないが役に立ちそうもない本

エ 面白いが何の役に立つかわからない本

オ つまらない上に何の役にも立ちそうもない本

問五 空欄 II を補うに最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 文化的格差 イ 感情的好悪 ウ 社会的類別 エ 心理的選別 オ 経済的得失

問六 傍線部④「本そのものより先に看板を『読む』のである」とはどのような意味か。本文の記述を踏まえて簡潔に説明しなさい。

問七 本文では、人々が書籍を購入する際に手がかりとしているものを二つ挙げている。それはどのようなものか、それぞれ五字以内で抜き出して答えなさい。

問八 本文中の波線部『吾輩は猫である』の作者は誰か。漢字で答えなさい。

問九 二重傍線部①②③④⑤のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① トウトツ ② スイセン ③ ス（かして） ④ チョサク ⑤ フクセイ

二 次の文章は、一人で田舎に暮らす父が火事で亡くなったとの知らせを受けて、故郷へ帰ることになった「私」の回想である。これを読んで、後の問いに答えなさい。なお、設問の都合で一部に省略と表記を改めた箇所がある。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

問一 空欄(A)を補うのに最も適当な語句を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 喜寿 イ 古稀 ウ 不惑 エ 傘寿 オ 白寿

問二 空欄(B)を補うのに最も適当な語句を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア おずおずと イ こそこそと ウ そそくさと エ てきぱきと オ すごすごと

問三 傍線部①「その夜は寝つけないかと懸念した」について、その理由を説明しなさい。

問四 傍線部②「再訪のたびに廃れていく印象があった」とあるが、このような印象を与える故郷を「私」は何と表現しているか。本文中から五字以内で抜き出して答えなさい。

問五 空欄(a)、(b)をそれぞれ補うのに最も適当な語句を、次の選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① a: ア 後悔 イ 不安 ウ 自責 エ 強迫 オ 嫌悪

b: ア 足が遠のく イ 顎あごが干上がる ウ 尻に火がつく エ 手に余る オ 懐がいたむ

問六 傍線部③「田舎に戻る」とあるが、具体的にはどうすることか。本文中の語句を用いて簡潔に答えなさい。

問七 傍線部④「喪もろくにあげないうちに後添いをもらった父に、心の底では恨みに近い心情を抱いていたのだ」とあるが、これに對して、継母のことを「私」はどのように思っていたのか。本文中からそれがわかる一文を抜き出して答えなさい。

問八 本文には次の一文が省略されている。これを元にもどした場合の、その直前にくる七字を抜き出しなさい。(句読点を含む)
「しかしその繁盛はほんの束の間のことだった。」

問九 本文の内容に合致しているものを次の中から全て選び、記号で答えなさい。

- ア 「私」は帰省するたびに廃れていく故郷に心を痛めつつも、こんな所では子供たちを育てられないと思っている。
- イ 医院が賑わっていたので、父は盆と正月に帰省する医学生の「私」に往復の交通費以上の金を毎年渡してくれた。
- ウ 「私」は父が本心では田舎に戻って欲しいと思っていると察していたが、それが不可能になる眼科を専門にした。
- エ 納戸で暮らす祖母と小遣いをもらう以外の接点がなかったように、同居はしていても「私」は祖父母と仲が悪かった。
- オ 冷たい水で赤くなった手の色を印象深く覚えていた豆腐屋の娘は「私」の初恋の相手であり、のちに私の妻となる。
- カ 父の訃報を受けて、「私」は妻とともに急ぎ故郷に帰ることになった。
- キ 「私」が眼科医になった頃に実の母が亡くなり、その後父が再婚したために、実家に帰ることが稀になった。

次の文章と図表を読んで、あとの設問に答えなさい。なお、設問の都合で一部に省略と表記を変えた箇所がある。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

(

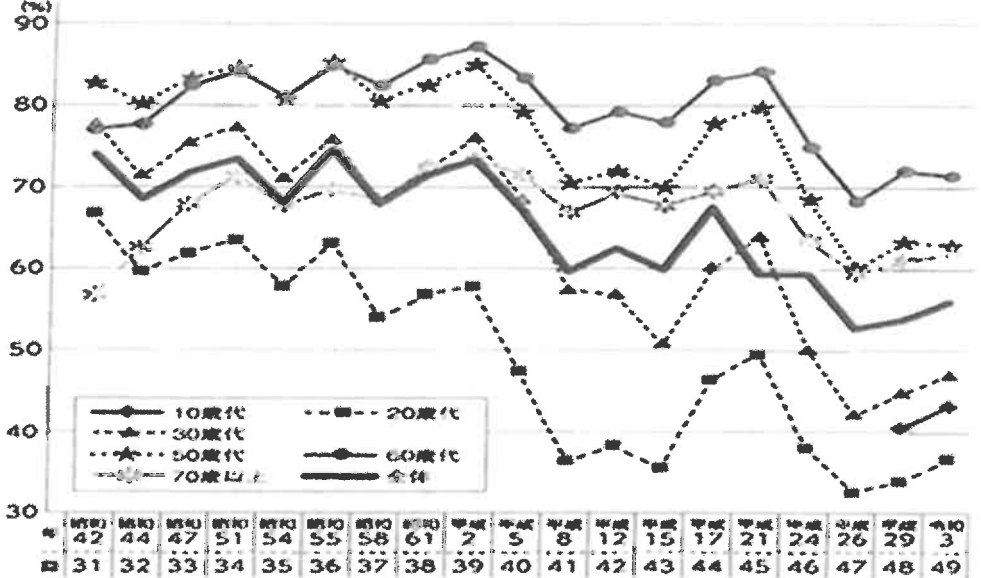
この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

(室橋祐貴『子ども若者抑圧社会・日本―社会を変える民主主義とは何か―』による)

問二 文中の空欄 ㉔ から ㉕ を補うのに最も適当な語句・数字を、次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

問一 空欄（I）に入る語句を本文中から五字で抜き出して答えなさい。

図表1-1 衆議院議員総選挙における年代別投票率（抽出）の推移



出典：総務省 衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移

図表1-3 自身と社会の関わりについての意識調査

Q 以下の項目に同意しますか。（各国n=1000）※「はい」回答率を掲載

単位：％	自分は大人 だと思ふ	自分は責任 がある社会 の一員だと思ふ	自分の行動 で、国や社会 を変えられる と思ふ	国や社会に 役立つことを したいと思ふ	慈善活動の ために 寄付をしたい	ボランティア 活動に 参加したい
日本	27.3 (6位)	48.4 (6位)	26.9 (6位)	61.7 (6位)	36.2 (6位)	49.7 (6位)
アメリカ	85.7	77.1	58.5	73.0	66.7	70.4
イギリス	85.9 (1位)	79.9	50.6	71.2	69.5	64.2
中国	71.0	77.1	70.9	82.1	78.9	85.3 (1位)
韓国	46.7	65.7	61.5	75.2	62.4	70.7
インド	83.7	82.8 (1位)	78.9 (1位)	92.6 (1位)	83.7 (1位)	78.1

出典：日本財団 18歳意識調査「第46回 ― 国や社会に対する意識（6か国調査） ― 」報告書

図表1-4 20代が過去1年に参加したことのある政治活動の国別割合（％）

	日	韓	米	英	独	仏	瑞
署名活動	5	24	31	48	30	40	45
商品のボイコット （政治的・倫理的理由による）	10	17	20	18	46	36	69
デモへの参加	1	4	12	8	10	12	12
政治集会への参加	1	2	7	3	11	4	13
意見表明を目的とした政治家への接触	1	4	10	7	6	3	9
寄付、政治活動のための募金創設	11	21	30	21	24	23	33
意見表明を目的としたメディアへの接触	1	3	2	7	7	3	6
インターネットでの政治的意見の表明	4	5	21	14	14	10	19

出典：ISSP2014-“Citizenship II”より著者作成

ア 高い イ 低い ウ いる エ いない オ 韓国 カ アメリカ キ イギリス ク ドイツ
 ケ フランス コ スウェーデン サ 自分は大人だ シ 自分は責任ある社会の一員だ
 ス 自分の行動で国や社会を変えられる セ 国や社会に役立つことをしたい ソ 慈善活動のために寄付をしたい
 タ ボランティア活動に参加したい チ 1 ツ 2 テ 3 ト 4

四

次の空欄を補うのに最も適切な漢字をあとの選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。

1 仏教の教えは深遠で、言葉で容易に説明する方法がない、という意味であった「言語（ ）断」は、現在では、もつてのほかで許されるものではないと非難する際に使われることがある。

2 彼女を知る人は多いが、出演する作品ごとに異なった印象を与える「変幻（ ）在」な様子は、天性の女優と思わせる高い演技力によるものだろう。

3 「天（ ）恢々疎にして漏らさず」とは、天が悪事や不正行為を見逃さないという古代中国の教訓を伝えるものだが、現代社会においては犯罪者が逮捕される際や、不正行為が明るみに出た時など、悪事が露見し報いを受ける状況を表す際に使われることがある。

4 ワイドショーなどに出演する専門家、研究者の中には、権力者や世間が好むような学説を述べる「曲学（ ）世の徒」と言うべき人もいる。そのため、一人の意見を鵜呑みにせず様々な意見を見聞きして冷静に判断する情報リテラシーが求められる。

5 古代中国の『易経』に由来する「虎視（ ）々」という語は、上の立場の人間が虎のように鋭く目を光らせて自分の徳を磨き続ければ、下の者に寝首を搔^かかれることはない、という意味であったが、現代においては下の立場の者が上の立場を狙うためにじつと観察し、機会を窺うという意味として用いられることも多い。

「選択肢」

ナ サ ア
端 自 盲

ニ シ イ
耽 時 網

ヌ ス ウ
探 次 望

ネ セ エ
単 治 妄

ノ ソ オ
淡 辞 綱

タ カ
亜 同

チ キ
阿 動

ツ ク
吾 堂

テ ケ
安 道

ト コ
蛙 胴